

事務事業名		歴史研究所調査研究事業				会計	一般会計					
						事業種別	政策	開始	15	終了		
課等名		歴史研究所		係等名								
基本計画上の位置づけ		政策	6	地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり								
		施策	61	地域資源の発見・資産化								
目的	対象(誰・何を)	・資史料(文書、画像史料、歴史的建造物、歴史的景観等)				対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・建造物等を含む資史料の調査研究、聞き取り調査等により地域の歴史文化を解明する。 ・研究助成により、飯田・下伊那地域の歴史が多面的に見いだされた地域資源の数(累計)					資史料存在可能箇所数(世帯38,034+自治振興センター等15+市内小中校及び郡内高校36+企業)			38130		
	向上させたい上位施策の成果指標						おおむね75歳以上市民(聞き取り調査対象年齢)			17000		
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	研究所で発表した研究成果の数(単年度)				60	108	60	60			
	成果指標	研究活動助成数(単年度)				4	4	4	4			
定性目標												
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過と共に失われていく資史料調査、建造物調査、聞き取り調査(オーラルヒストリー)を実施し、資料の収集、保存、公開、活用を行う。 ・市内各地に豊かに積層する歴史や文化の達成物全てを「地域歴史遺産」、「地域文化遺産」として再発見し、関係機関との連携を図りながら、それらの調査・研究や、未来を生きる市民への継承などを、地域市民とともに取り組む。 ・研究員、調査研究員、顧問研究員、市民研究員等は研究計画書に基づきそれぞれの研究課題に取り組み、客員研究員には研究活動への積極的な協力を求める。その成果を、研究集会、定例研究会、年報等で公表する。 ・市域を対象にした研究活動を助成することで研究成果の蓄積を図り、人材の育成に努め、広くその成果を地域に還元する。 											
事業内容						名称			活動指標			
24年度事業内容	1 基礎共同研究					1 延べ調査回数			1 延べ111回			
	2 基礎研究					2 件数			2 21件			
	3 研究集会8月18日～19日 飯田下伊那地域に関する研究報告会 テーマ「地域と歩む教育の歴史」					3 参加者数			3 222人			
	4 研究成果物等の出版『年報10』(研究報告、市民の研究投稿等)、 『下伊那のなかの満洲10』、『飯田町の暮らし5』、『飯田台地の社会と水利用』					4 出版数			4 4件			
	5 地域史研究活動の支援および歴史研究活動助成					5 対象数			5 20件			
	6 定例研究会					6 月例研究会等回数			6 8回			
	7 旧役場文書保存・活用(市町村合併特例交付金事業)					7 作業人数			7 延べ78人			
	8 歴史的建造物の調査研究と保存・利活用(地域伝統文化総合活性化事業)					8 保存・利活用プロジェクトの参加人数			8 延べ766人			
	9 緊急雇用創出事業として地域歴史資料調査					9 委託			10 1,205点			
	10 上郷有線放送記録デジタル保存活用					10 デジタル保存数			11 13,519点			
	11 写真史料(ガラス乾板・フィルム等)調査および整理(地域伝統文化総合活性化事業)					11 保存史料数						
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		25,280	29,806	28,208	23,853	(国)地域伝統文化総合活性化事業補助金3,323千円 (県)市町村合併特例交付金 2,490千円 緊急雇用創出事業補助金5,865千円 (そ)諸収入						
国庫支出金		800	3,384	3,323	3,000							
県支出金		9,500	8,500	8,355	2,800							
起債												
その他		639	2,390	725	350							
一般財源		14,341	15,532	15,805	17,703							
人件費計(千円)②		12,874		6,973								
正規職員所要時間		3,600		1,950								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		38,154	29,806	35,181	23,853							
事業内容・目標達成状況の振り返り	地域史研究の支援および建造物の調査研究と保存・利活用は、各団体と連携して定期的に開催した。 写真史料(ガラス乾板 6,855枚、ネガ等 6,664点)の調査・整理、上郷有線放送史料のデジタル化を行い公開・活用した。											
改革改善の考え方	①問題点	市民等からの依頼・相談により、調査・整理を必要とする史料が年々増加しているが、経費等の問題で調査や整理が進まず、蓄積されてきている。同時に保管場所にも苦慮している。										
	②改革提案	経費・人材を確保し、史料調査と整理を進める。 調査の目的と研究の継続性を重視して、研究事業の枠組みを見直す。										